



“千代田中だより”

千代田中学校教育目標

夢と誇りを持ち 自ら学び行動できる 心身共に調和のとれた生徒の育成

～ Chance Challenge Change ～

<https://www.education.saga.jp/hp/chiyoda-j/>

TEL 0952-44-2222

神埼市立
千代田中学校



3年生を励ます会

11月5日(土)に、「3年生を励ます会」が開催されました。PTA主催によるもので、多くの3年生保護者様方にも参加をいただきありがとうございました。【第一部】では東部教育事務所から牟田和恵様を講師としてお招きし、令和4年度の県立高等学校入学予定者入試説明会を行いました。また、私立高校の出願がweb形式になっていますのでその手順について本校職員から説明を行いました。【第二部】は親子ふれあい活動で武雄市レクリエーション協会会長の森恵美様に「今こそ、もっと前へ～自分を信じて～」と題して講演していただきました。活動の中では親子が手を繋ぐ場面もあり、父親の中には「娘と手を繋いだのは何年ぶりだろうか。こうした機会をいただき大変有難い。」と感想を述べられた方もおられました。【第三部】の「ぼた餅会」では、ぼた餅の配布と「生徒から保護者へ「決意の手紙」を渡しました。思春期で口数も少なくなり、悩みを口に出せないことも多くなったなか、入試に向けての決意と、日ごろ支えてくれる保護者へ感謝の言葉をのした手紙を手渡すことができました。生徒たちは、日ごろの言えない気持ちを伝えることができ、照れてはいましたが、嬉しそうでした。

PTA活動として、こうした機会を作ってくくださったことに心から感謝したいと思います。



市長表敬訪問

11月4日(金)に市役所1階ホールにて、夏季中学校総合体育大会で九州大会・全国大会に進出した団体・個人による神埼市長表敬訪問が行われました。本校からは新体操競技で3年の中尾迅選手、バドミントン競技で3年 中原菜那・2年 垣副優奈ペアが参加しました。市長の挨拶に続き各団体・選手が一言ずつ大会の感想を述べました。中尾君からは「九州大会では、トップ3に入れなかったのが、全国大会ではトップ3に入れるように頑張ります。」中原さんからは「九州大会の厳しさを改めて知りました。高校ではこの悔しさを生かしてがんばります。」とこの経験を生かす前向きな発言があり、頼もしく感じました。今後の活躍を期待します。



女子バレーボール部快挙！！

11月5～6日(日)に行われた佐賀県中学校新人バレーボール大会において東部地区の厳しい予選会を勝ち抜き県大会に出場した女子バレーボール部はシード校を破りベスト4進出を果たしました。準決勝で鹿島東部中に接戦で敗れたものの県3位に輝く素晴らしい成績を収めました。女子バレーボール部の古賀優希主将は地区新人戦の推戴式でも「応援よろしくお願ひします」とは言わず、「応援されるようなチームを目指し頑張ります。」と宣誓していました。この女子バレーボール部の健闘は地区新人大会で見えていましたが、本当に最後まであきらめない一生懸命にプレーし、素晴らしい健闘が見られました。日ごろの練習風景を見学に行くと必ず大きな声で気持ちのいい挨拶をしてくれます。みんなから応援されるチームには結果がついてくるものだと強く感じました。これからの寒い時期に基礎・基本や体力作りを重ね、さらに飛躍をしてくれると期待しています。おめでとうございます。



ソフトボール部またも快挙！

11月5～6日(日)に行われた第35回佐賀県中学生新人兼第33回九州中学生選抜ソフトボール大会予選会において、本校ソフトボール部は決勝では敗れたものの見事、準優勝し、2月に鹿児島県で行われる九州大会への出場権を獲得しました。5月に県大会を制した本校ソフトボール部ですが、部員数が減少しており、現在7名で活動しています。そのため、今回の大会は同じように部員数の不足している小城中学校との合同チームで出場しました。部員数が少ないため毎日の放課後の練習も全体練習ができず、工夫をしながら日々努力を重ねています。こうしたこつこつとした積み重ねが大きな結果を生み出しました。生徒の皆さんもいろいろな不遇に耐え、辛い思いをするときがあるかもしれませんが、ソフトボール部の皆さんは私たちに「不遇にも、くさることなく日々努力を重ね、信じて前を向いて進むときと報われることがある」という大きな励みを与えてくれました。今後もソフトボール部の活躍をみんなで応援しましょう。

